

高知県進学学力向上対策費補助金交付要綱

(趣 旨)

第1条 この要綱は、高知県補助金等交付規則（昭和43年高知県規則第7号。）第24条の規定に基づき、高知県進学学力向上対策費補助金（以下「補助金」という。）の交付に関し必要な事項を定めるものとする。

(補助目的)

第2条 県は高等学校教育における進路指導の充実を図るため、高知県進学協議会が行う事業（以下「補助事業」という。）に要する経費について予算の範囲内で補助金を交付する。

(補助対象事業及び補助率等)

第3条 前条に規定する補助対象事業及び補助率は、それぞれ別表に定めるとおりとする。

(申 請)

第4条 高知県進学協議会は、補助金の交付を受けようとするときは、別記第1号様式による補助金交付申請書に次の各号に掲げる書類を添えて、各1通を高知県教育長（以下「教育長」という。）に提出するものとする。

- (1) 事業計画書（別記第2号様式）
- (2) 収支予算書（別記第3号様式）

(交付の決定)

第5条 教育長は前条の申請が適当であると認めたときは、補助金の交付の決定をし、補助金交付先に通知するものとする。ただし、当該申請をしたものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときを除く。

- (1) 暴力団（高知県暴力団排除条例（平成22年高知県条例第36号。以下「暴排条例」という。）第2条第1号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員等（暴排条例第2条第3号に規定する暴力団員等をいう。以下同じ。）であるとき。
- (2) 暴排条例第18条又は第19条の規定に違反した事実があるとき。
- (3) その役員（業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいい、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、法人に対し業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者と同様以上の支配力を有するものと認められる者を含み、法人以外の団体にあつては、代表者、理事その他これらと同様の責任を有する者をいう。以下同じ。）が暴力団員等であるとき。
- (4) 暴力団員等がその事業活動を支配しているとき。
- (5) 暴力団員等とその業務に従事させ、又はその業務の補助者として使用しているとき。

- (6) 暴力団又は暴力団員等がその経営又は運営に実質的に関与しているとき。
- (7) いかなる名義をもってするかを問わず、暴力団又は暴力団員等に対して、金銭、物品その他財産上の利益を与え、又は便宜を供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持又は運営に協力し、又は関与したとき。
- (8) 業務に関し、暴力団又は暴力団員等が経営又は運営に実質的に関与していると認められる者であることを知りながら、これを利用したとき。
- (9) その役員が、自己、その属する法人その他の団体若しくは第三者の利益を図り、又は第三者に損害を加えることを目的として、暴力団又は暴力団員等を利用したとき。
- (10) その役員が暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有しているとき。

(補助金の交付の決定の取消し)

第6条 教育長は、補助事業者が前条各号に掲げるいずれかに該当すると認めたときは、補助金の交付の決定の全部又は一部を取り消すことができる。

2 教育長は、理由のいかんを問わず、補助事業が中断、放棄等によって事業完了に至らない場合は、補助金の交付の決定を取り消すものとする。

(補助の条件)

第7条 補助金の交付の目的を達成するため、補助事業者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 高知県進学協議会は、補助事業の内容及び経費の配分等の変更をしようとする場合は、事前に別記第4号様式による事業内容変更申請書を教育長に提出して教育長の承認を受けなければならない。ただし、補助対象事業相互間の経費の配分の変更で、事業費の20パーセント以内の変更については、この限りでない。
- (2) 補助事業の執行に際しては、県が行う契約手続の取扱いに準じて行わなければならない。
- (3) 補助事業により取得した財産は、善良な管理者の注意を持って適正に管理するとともに、補助金の交付の目的に従ってその効率的な運用を図らなければならない。
- (4) 補助事業により取得した財産については、「減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年大蔵省令第15号）」に定められている耐用年数に相当する期間内において、補助金の交付の目的に反して使用し、譲渡し、破棄し、貸し付け、又は担保に供する場合は、事前に教育長の承認を受けなければならない。
- (5) 前号の規定により教育長の承認を得て財産を処分したことにより収入があった場合は、当該収入の全部又は一部を県に納付しなければならない。
- (6) 補助事業の実施に当たっては、第5条各号に掲げるいずれかに該当すると認められるものを契約の相手方としない等の暴力団等の排除に係る県の取扱いに準じて行わなければならない。

(補助金の概算払)

第8条 補助金の支払は、精算払を原則とする。ただし、教育長が補助事業の円滑な実施を図るため必要があると認める場合は、概算払をすることができる。

2 高知県進学協議会は、補助金の概算払を受けようとするときは、別記第5号様式による概算払請求書に概算払を必要とする理由及びその基礎を明らかにした書類を添付して教育長に提出しなければならない。

(実績報告書等)

第9条 補助事業者は、補助事業の終了後1か月以内又は3月31日のいずれか早い期日までに別記第6号様式による実績報告書に別記第7号様式による収支決算書を添えて、教育長に提出しなければならない。なお、これにより難しい場合は翌年度の4月15日までに提出するものとする。

(補助金の経理)

第10条 補助事業者は、補助事業についてその収入及び支出を記載した帳簿を備え、経理状況を常に明確にし、かつこれらの書類を補助事業の交付を受けた年度の翌年度から5年間保管しなければならない。

(グリーン購入)

第11条 補助事業者は、業務の実施において物品等を調達する場合は、県の定める「高知県グリーン購入基本方針」に基づき環境物品等の調達に努めるものとする。

(情報の開示)

第12条 補助事業又は補助事業者に関して、高知県情報公開条例に基づく開示請求があった場合には、同条例第6条に規定する非開示項目以外の項目は、原則として開示する。

(その他)

第13条 この要綱で定めるもののほか必要な事項については、別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成11年4月1日から施行する。
- 2 この要綱は、平成27年5月31日限り、その効力を失う。ただし、この要綱に基づき交付された補助金については、第10条及び第12条の規定は同日以降もなおその効力を有する。

附 則

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この要綱は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 第4条の規定による申請は、この要綱の施行の日前においても行うことができる。

別 表

補助対象事業及び補助率一覧表

補助対象事業	補助対象経費	補助率
1 進学指導に関する事業	報酬	定額
(1) 県下高等学校生徒の学力向上対策事業	賃金	
(2) 進学指導のための資料作成	報償費	
2 調査研究活動に関する事業	給料	
(1) 学習支援テストの実施及び結果分析、 大学入試結果等の調査	共済費	
(2) 県外教育機関等での進学指導に関する 調査研究	旅費	
3 大学進学講座に関する事業	印刷製本費	
4 進路講演会に関する事業	通信運搬費	
高校生並びに保護者を対象に進学等 に関して大学等各界から講師を招き実施 する講演会	手数料	
	使用料及び賃借料	
5 上記1から4の事業の実施に当たる非 常勤職員の雇用費	備品購入費	
	負担金	

平成 年 月 日

高知県教育長 様

住 所

氏 名 印

（生年月日： 年 月 日）

平成 年度高知県進学学力向上対策費補助金交付申請書

高知県進学学力向上対策費補助金交付要綱第4条の規定により下記のとおり平成 年度高知県進学学力向上対策費補助金の交付を関係書類を添えて申請します。

記

補助金交付申請額 円

添付書類

- | | | |
|---|-------|--------|
| 1 | 事業計画書 | 別紙のとおり |
| 2 | 収支予算書 | 別紙のとおり |

平成 年 月 日

高知県教育長 様

住 所

氏 名

平成 年度 高知県進学学力向上対策費補助金事業計画書

区分	事業項目	事業内容等			金額
		年月日	内 容	場 所	
補助対象事業					
	小 計				
その他の事業					
	小 計				
合 計					

収 支 予 算 書

収入の部

単位：円

科 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減		説 明
			増	減	
合 計					

支出の部

単位：円

科 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減		説 明
			増	減	
補助 対象 経費					
	小 計				
そ の 他 の 経 費					
	小 計				
合 計					

上記のとおり相違ありません。

平成 年 月 日

住 所

氏 名

印

平成 年 月 日

高知県教育長 様

住 所

氏 名 印

平成 年度高知県進学学力向上対策費補助金
事業内容変更申請書

平成 年 月 日付け第 号をもって交付決定を受けた平成 年度高知県進学学力向上対策費補助金に係る事業について別紙のとおり内容を一部変更したいので承認して下さるよう申請します。

別 紙

- 1 事業内容変更事項及び理由書
- 2 収 支 予 算 書

平成 年度高知県進学学力向上対策費補助金事業内容変更事項及び理由書

事業変更内容及びその理由	
変更前	変更後
変更理由	

収 支 予 算 書

収入の部

単位：円

科 目	変更前 予算額	変更後 予算額	比較増減		説 明
			増	減	
合 計					

支出の部

単位：円

科 目	変更前 予算額	変更後 予算額	比較増減		説 明
			増	減	
補助対象経費					
	小 計				
その他の経費					
	小 計				
合 計					

上記のとおり相違ありません。

平成 年 月 日

住 所

氏 名

印

平成 年 月 日

高知県教育長 様

住 所

氏 名

印

平成 年度高知県進学学力向上対策費補助金概算請求書

金 円

上記平成 年度高知県進学学力向上対策費補助金（交付決定通知第 号）を概算交付されるよう請求します。

記

補助金交付決定額	円
既 交 付 額	円
今 回 請 求 額	円

振 込 先	銀行	支店
預 金 種 目	1 普通預金	2 当座預金
口 座 番 号		
口 座 名 義 人	住所	
	氏名	

平成 年 月 日

高知県教育長 様

住 所

氏 名 印

平成 年度高知県進学学力向上対策費補助金実績報告書

平成 年 月 日付け第 号により補助金の交付決定を受けた平成 年度高知県進学学力向上対策費補助に係る事業の実績について高知県進学学力向上対策費補助金交付要綱第9条の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

添付書類

- | | |
|---------|----------|
| 1 実績報告書 | 別紙のとおり |
| 2 収支決算書 | 別紙のとおり |
| 3 事業終了日 | 平成 年 月 日 |

平成 年 月 日

高知県教育長 様

住 所

氏 名

印

平成 年度高知県進学学力向上対策費補助金実績報告書

区分	事業項目	事業内容等			金額
		年月日	内 容	場 所	
補 助 対 象 事 業					
	小 計				
そ の 他 の 事 業					
	小 計				
合 計					

収 支 決 算（見込）書

収入の部

単位：円

科 目	予算額	更正予算額	決算(見込)額	差引額	説 明
合 計					

支出の部

単位：円

科 目	予算額	更正予算額	決算(見込)額	差引額	説 明
補助 対象 経費					
	小 計				
そ の 他 の 経 費					
	小 計				
合 計					

上記のとおり相違ありません。

平成 年 月 日

住 所

氏 名

印